

金子堅太郎賞

永谷氏ら3氏

日米交流に貢献

草の根の日米交流に貢献した人に贈られる日米協会の第3回「金子堅太郎賞」の受賞者が5日、発表された。日本からはカントリー歌手のチャーリー永谷さん(83)、米国からはオハイオ州の教員ヘレン・リンズバークさん(70)が選ばれた。

両国間の民間交流を続ける日米協会によると、永谷さんは国内の米カントリー音楽の第一人者で、毎年、熊本県南阿蘇村でカントリー音楽の祭典を開いてきた。リンズバークさんは、地元学校で日本の美術史などを教えるなど日本の芸術・文化を紹介してきた。

また、著名人に贈られる特別賞は、世界各国を訪れ、「茶道外交」を続けている茶道裏千家、千玄室さん(96)が選ばれた。

授賞式は11月22日、東京都港区の国際文化会館で行われる。金子堅太郎は日米協会の初代会長で、日露戦争の際、米国で日本支持を呼びかけた。

2019年9月6日(金) 読売新聞朝刊